

開講科目一覧

高校で学んだ知識を活かして
新しい発見ができる！！

文系 1 経営情報システム概論

経済学部 経済学科

高度情報化社会における「情報活用に関する基礎知識」を習得するとともに、情報を基に自身の行動様式を決定する具体化作業を体験する。

担当：砂口 洋毅 / 後学期月曜4限 / 参加可能人数 10名

文系 3 九州企業研究B

商学部 経営・流通学科

各業界に関する基礎資料と新聞記事を読み、その業界の特性を把握する授業。グループに分かれて資料作成・発表を行うことで、チーム活動力、プレゼンテーション能力の向上も図る。

担当：間間 理 / 後学期月曜4限 / 参加可能人数 20名

文系 5 特別講座A(柳川サテライト)

地域共創学部 観光/地域づくり学科

柳川市との連携で行う授業で、柳川市から提示される地域課題（主に観光分野）に対し、文献調査や現地調査（1～2回、土曜日が日曜日）等を行い、課題解決策をまとめ、柳川市に報告・提案する。本授業はグループワークを用い演習形式で行う。

担当：千 相哲 / 後学期月曜4限 / 参加可能人数 5名

芸術系 デッサン基礎演習

芸術学部 芸術表現学科

創作の基礎となるデッサン力の修練を通過点とした、観察力・造形力の習得を目的とする。デッサン制作の授業を通して空間と立体感、明暗や質感表現の理解を深めることにより受講者の創作表現の基盤を形成する。

担当：渡抜 亮 / 前学期集中(夏季休暇中) / 参加可能人数 6名

文系 2 九州とコンテンツ制作

商学部 経営・流通学科

Adobeのアプリを組み合わせて使い、他人に伝えたいことを動画にまとめてYouTubeにアップロードするスキルを身に付ける。

担当：高木 昇 / 後学期水曜4限 / 参加可能人数 10名

文系 4 特別講座B(プレゼンテーション演習)

地域共創学部 観光/地域づくり学科

「大学生と連携したフィールドワーク演習」大学生と高校生が協働し、教室でのグループワークや九州産業大学の周辺地域でのフィールドワークを行い、それらで得られた成果をまとめ、プレゼンテーションを行う授業。

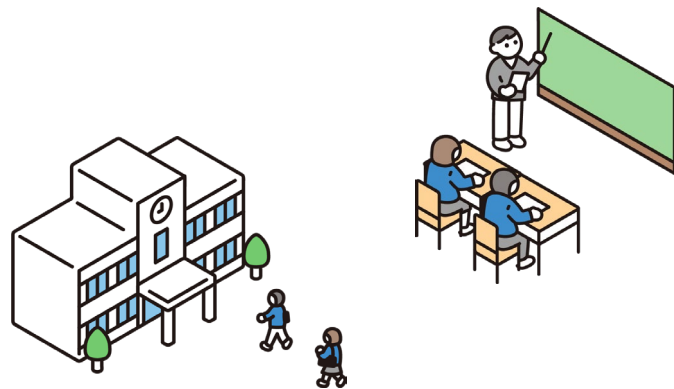
担当：行平 真也 / 後学期木曜4限 / 参加可能人数 7名

文系 6 スポーツマーケティング論

人間科学部 スポーツ健康科学学科

スポーツマーケティングには、「スポーツ（チームや団体）のマーケティング」と「スポーツを利用した（一般企業の）マーケティング」の2種類がある。この授業では、演習を中心にマーケティングの基礎を学ぶ。

担当：花内 誠 / 後学期木曜4限 / 参加可能人数 20名



理系 1 実践力育成演習(ETロボコン)

理工学部 情報科学学科

組込みソフトウェアの開発や設計を学んだことがない学生が、一連の流れを体験する機会を提供する。「ETロボコン」の教材を用いた組込みソフトウェアの演習を行う。
受講条件：①開発用ノートPCを準備できること
②開発環境をインストールしプログラミングできること

担当：澤田 直 / 参加可能人数 5名
安武 芳紘 / 前学期月曜4限

理系 3 技術者倫理

理工学部 機械工学科

産業界で活躍する技術者には、知識・技術を有するだけでなく広く社会的な倫理観が求められている。本授業では、組織の一員としての倫理、法的責任等について、事例をもとに説明を行う。

担当：鶴田 和寛 / 後学期火曜4限 / 参加可能人数 5名
小代 哲也 / 後学期火曜4限 / 5名

理系 5 色彩・照明論

建築都市工学部 住居・インテリア学科

我々の生活空間において、色彩や照明は空間の特性やそこで過ごす人間の心理に大きな影響を与える。本授業では、住居・インテリア領域における色彩や照明に関して、基礎理論や計画要点を学び、さらにその応用として色彩計画、照明計画の演習を行う。

担当：小泉 隆 / 前学期火曜4限 / 参加可能人数 10名

理系 2 図学

理工学部 機械工学科

機械を設計するためには計算や解析だけでなく、部品形状や組立方法などを理解するための製図やCADが必須である。本授業は、それらの科目の基礎となる立体を平面図上に表す手法などについて説明を行う。

担当：久保 明雄 / 前学期水曜4限 / 参加可能人数 5名

理系 4 デジタルシステム概論

理工学部 電気工学科

デジタルシステムとしてコンピュータを取り上げ、コンピュータ内でのデータの表現、周辺機器を含むコンピュータの動作のしくみを学ぶ。さらにコンピュータの発展の変遷からこれからのデジタルシステムについて考える。

担当：松岡 剛志 / 前学期月曜4限 / 参加可能人数 5名

理系 6 パッシブデザイン演習

建築都市工学部 住居・インテリア学科

住居・インテリア領域における住環境の質を良くするための、パッシブデザインの基礎的な考え方を理解する。パッシブデザインとは、地域環境のエネルギーを活かし、かつ省エネルギーをしながら、快適で健康的な住空間をつくる手法のことである。事例研究や提案・計画に関する演習も行いながら、パッシブデザインに対する理解を深める。

担当：香川 治美 / 後学期火曜4限 / 参加可能人数 10名

